

# Economic Indicators

発表日: 2024年3月8日(金)

## 主要経済指標予定(2024年3月11日~3月15日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(3月11日~3月15日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
3月11日 (月)	8:50 10-12月期 GDP2次速報				
	実質 GDP 成長率(前期比)	+0.9%	+1.1%	+0.7%~+1.8%	▲0.1%
	(同年率)	+0.2%	+0.3%	+0.2%~+0.4%	▲0.4%
	名目 GDP 成長率(前期比)	+0.6%	+0.7%	+0.3%~+0.9%	+0.3%
	8:50 2月マネーストック				
	M2(前年比)	+2.4%	+2.4%	+2.3%~+2.5%	+2.4%
M3(前年比)	+1.8%	+1.8%	+1.8%~+1.9%	+1.8%	
広義流動性(前年比)	+2.0%	+2.2%	+2.0%~+2.3%	+2.2%	
3月12日 (火)	8:50 1-3月期法人企業景気予測調査				
	景況判断BSI大企業製造業	—	—	—	+5.7
	全産業	—	—	—	+4.8
	8:50 2月企業物価指数				
(前月比)	+0.2%	—	—	0.0%	
(前年比)	+0.6%	+0.5%	0.0%~+0.6%	+0.2%	
3月13日 (水)					
3月14日 (木)					
3月15日 (金)	13:30 1月第3次産業活動指数				
	(前月比)	+0.2%	+0.1%	▲1.2%~+0.7%	+0.7%
(前年比)	+0.7%	—	—	+0.3%	

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



**10-12月期GDP 2次速報・実質GDP成長率** 当社予想：前期比年率+0.9% 中央値：同+1.1%

実質GDP成長率は前期比年率+0.9%と、1次速報の前期比年率▲0.4%から上方修正され、プラス成長に転じると予想する。法人企業統計の結果を受けて設備投資が大幅に上方修正されることが影響するだろう。1次速報で弱さが目立っていた設備投資がプラスに転じることは素直に好材料と受け止めて良く、1次速報対比で内容も良化する見込み。ただ、それでも個人消費を中心に内需の弱さは目立っており、内需主導の自律的な景気回復にはまだ距離がある状況は変わらない。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

**2月企業物価指数・国内企業物価** 当社予想：前年比+0.6% 中央値：同+0.5%

24年2月の国内企業物価を前年比+0.6%、前月比+0.2%と予想する。価格転嫁の一服により食料品など多くの品目で緩やかな鈍化が続く一方、昨年同時期に実施された政府の補助金効果が一巡することで、電気・ガス代の前年比マイナス幅が縮小し、企業物価を押し上げる見込み。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

図表 1

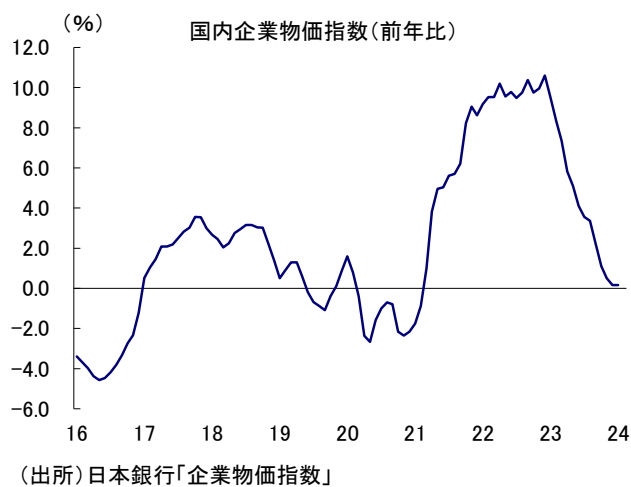
## 2023年10-12月期GDP2次速報予測

(%)	
実質GDP	0.2
(前期比年率)	0.9
内需寄与度	0.1
(うち民需)	0.1
(うち公需)	▲ 0.1
外需寄与度	0.2
民間最終消費支出	▲ 0.2
民間住宅	▲ 1.0
民間企業設備	2.1
民間在庫変動(寄与度)	0.0
政府最終消費支出	▲ 0.1
公的固定資本形成	▲ 0.9
財貨・サービスの輸出	2.6
財貨・サービスの輸入	1.7

※断りの無い場合、前期比(%)

(出所)内閣府「国民経済計算」、第一生命経済研究所

図表 2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

